



郷土の気候風土が育んだ 飛騨・美濃伝統野菜



春日きゅうり



国府なす



こんぶり



堂上蜂屋柿



あじめコショウ



まくわうり



高原山椒



半原かぼちゃ

「飛騨・美濃伝統野菜」とは

岐阜県には、豊かな自然と変化に富んだ地形を活かし、地域の食文化とともに育まれてきた、いわゆる伝統野菜が数多くあります。これら伝統野菜は、独自の魅力や特色を有し、地域の方々に大切に育てられてきた歴史があり、本県の貴重な資源・財産です。本県では、こうした古くから栽培されている特色ある野菜や果樹等で、以下の要件を満たす品目を「飛騨・美濃伝統野菜」として認証し、オンリーワン農産物の生産・販売の振興を図っています。

認証要件

1. 本県で主に栽培されていること
2. 本県の気候風土により特性がみられること
3. 古く（昭和20年以前）から栽培され、地域に定着していること



認証品目32品目 (野菜27品目、果樹5品目)

1 あきしまささげ

① 高山市(旧高山市、旧丹生川村、旧国府町、旧上宝村、飛騨市(旧古川町)) ② 7月下旬~10月



③ 秋に収穫が本格化し、気温の低下とともに莢の表面に紫色の縞模様が現れることから「あきしまささげ」と呼ばれています。

2 あじめコショウ

① 中津川市(旧福岡町) ② 7月~11月



③ 付知川に生息するアジメドジョウに似ていることが名前の由来です。若採りすると辛みは少なく生食でき、熟したものは香辛料として利用します。

3 きくいも

① 恵那市(旧岩村町) ② 11月



③ 切り口の模様が菊の花に似ていることが名前の由来です。主に漬物(味噌漬け、粕漬け等)に利用します。

4 菊ごぼう

① 中津川市(旧中津川市、旧福岡町) ② 10月中旬~11月中旬



③ 切り口の模様が菊の花に似ていることが名前の由来です。独特の香りと風味があり、漬物のほか、すき焼きなどに利用します。

5 桑の木豆

① 山県市(旧美山町) ② 10月



③ 蚕蚕が盛んに行われていた頃、蚕蚕用に栽培していた桑の木に這わせて栽培したことが名前の由来です。煮物やフライなどに利用します。

6 沢あざみ

① 揖斐川町(旧春日村) ② 4月下旬~7月上旬



③ 伊吹山麓の谷筋に自生していたものを採取して、家屋の周辺や茶畑で栽培するようになりました。煮物などに利用します。

7 十六ささげ

① 羽島市、本巣市(旧糸貫町) ② 6月下旬~9月下旬



③ 莢の長さは30~40cmほどと長く、高温、乾燥に強く、盛夏でもよく着莢します。おひたし、和え物などに利用します。

8 千石豆

① 岐阜市 ② 4月下旬~10月下旬



③ 高温や病気に強く、たくさん実をつけることから、千石豆との名前の由来となっています。和え物などに利用します。

9 徳田ねぎ

① 岐南町 ② 11月下旬~翌年3月



③ 分けつ旺盛なねぎで、葉は柔らかく濃緑です。様々な料理に利用されます。

10 西方いも

① 中津川市(旧加子母村) ② 10月~12月



③ 旧加子母村小郷の西方地区で栽培されている粘りのある里芋です。

11 飛騨一本太ねぎ

① 高山市(旧高山市、旧丹生川村、飛騨市(旧古川町)) ② 11月~12月



③ 白根が太く長いねぎで、飛騨の初冬の寒さにあたることで柔らかくなり、粘りけや甘みも増します。

12 飛騨紅かぶ

① 高山市(旧高山市、旧丹生川村、旧国府町、旧上宝村、飛騨市(旧古川町)) ② 10月~12月上旬



③ 秋の冷涼な気候により、柔らかく肥大し、飛騨の伝統食の代表である赤かぶ漬けとして利用されています。

① 主な栽培地域 ② 収穫時期 ③ 来歴・特徴等

13 まくわうり

① 本巢市(旧真正町) ② 7月下旬～8月上旬



③ 旧真正町真桑地区で栽培され、信長が朝廷に献上した香りのよい瓜です。果色は黄色で、表面に緑のすじが10本つきます。

14 守口だいこん

① 岐阜市、各務原市(旧川島町) ② 12月～翌年1月



③ 根長は1m以上になる大根で、砂質土壌が栽培に適していることから当地で栽培が始まりました。漬物に利用します。

15 わしみかぶら

① 郡上市(旧高鷲村) ② 11月



③ 旧高鷲村鷲見地区で主に自家用に栽培されている漬物用のかぶです。首の周りは紫に近い色合いです。

16 堂上蜂屋柿

① 美濃加茂市 ② 11月(干柿出荷12月下旬～1月上旬)




③ 美濃加茂市蜂屋町原産の渋柿で、果肉は緻密で種子、水分ともに少ない干し柿専用品種です。朝廷に献上されたことが堂上の名がつく由来です。

17 弘法いも

① 本巢市(旧根尾村) ② 7月



③ 旧根尾村で弘法大師の伝説と結びついて名がつきました。粘質の小さなじゃがいもです。

18 瀬戸の筍

① 中津川市(旧中津川市) ② 4月～5月上旬



③ 中津川市瀬戸地区の赤土土壌で栽培され、太くてやわらかく甘みがある筍です。

19 種蔵紅かぶ

① 飛騨市(旧宮川村) ② 11月



③ 旧宮川村種蔵地区で栽培され、葉付きのまま長漬けにされる赤かぶです。鮮やかな赤紫色、円錐形であり、葉軸が赤いのが特徴です。

20 半原かぼちゃ

① 瑞浪市 ② 7月中旬～8月中旬



③ 瑞浪市日吉町半原地区で栽培され、肉質は粘質できめ細かく、主に菓子に利用されています。

21 伊自良大実柿


① 山県市(旧伊自良村) ② 11月上旬(干柿出荷12月下旬～1月下旬)




③ 柿3個を刺した串を連結して作る干し柿は連柿と呼ばれ、正月用の飾りとしても人気があります。

22 紅うど


① 恵那市(旧上矢作町) ② 4月～5月上旬



③ 鮮やかな赤色で香りが強く柔らかくて、一般の山うどよりアークが少ないです。

23 藤九郎ぎんなん

① 羽島市、瑞穂市(旧穂積町) ② 10月



③ 旧穂積町の井上藤九郎宅に原木があったと言われていました。現在のぎんなん品種の中ではもっとも大粒です。

24 南飛騨富士柿

① 下呂市 ② 10月下旬～11月上旬(干柿出荷12月)




③ 四角張った大果の渋柿で、大きな干し柿になります。

25 高原山椒

① 高山市(旧上宝村) ② 8月上旬



③ 高原川流域に自生していたことが名前の由来です。一般的な山椒と比べ、実が小さく深緑色をしています。香りが優れ、貯蔵性もよいです。

26 島ごぼう

① 岐阜市 ② 4月～6月上旬



③ 岐阜市島地区で栽培され、根が少し短く側根が多いのが特徴です。香りがよく、炊き込みご飯などに利用します。

27 久野川かぶら

① 下呂市 ② 11月上旬



③ 旧下呂町久野川地区で栽培され、根の表面、葉や茎まで赤いかぶです。漬物にすると鮮やかな紅色が出ます。

28 春日きゅうり

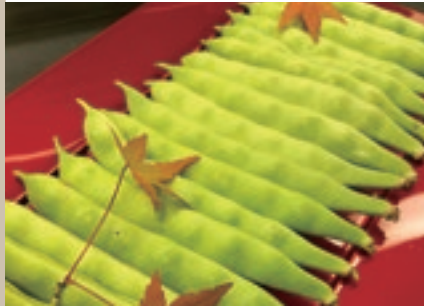
① 揖斐川町(旧春日村、旧久瀬村) ② 8月～10月



③ 通常のきゅうりとは異なり太く短い形をしています。若い果実は緑色ですが、成熟すると黄色、オレンジ色になります。

29 春日豆

① 揖斐川町(旧春日村、旧久瀬村) ② 10月～11月



③ 以前は茶畑で茶の木に這わせて栽培されていました。豆は赤いまだらと白色の2系統あります。

30 こんぶり

① 揖斐川町(旧春日村) ② 5月～6月



③ 旧春日村で栽培されてきた「アサツキ」の球根をこんぶりと呼んでいます。

31 春日はるな

① 揖斐川町(旧春日村、旧久瀬村) ② 4月～5月



③ 雪の下でも枯れないため、雪の多い当地で定着しました。雪解け後に収穫し、漬物や煮物の菜として利用します。

32 国府なす

① 高山市(旧国府町) ② 7月～10月



③ 外皮は薄く薄紫色で、果肉は柔らかいです。焼きなす用品種として生産されており、味噌を塗って食べられています。



詳細についてはこちらの
県ホームページをご覧ください。



飛騨・美濃伝統野菜

検索

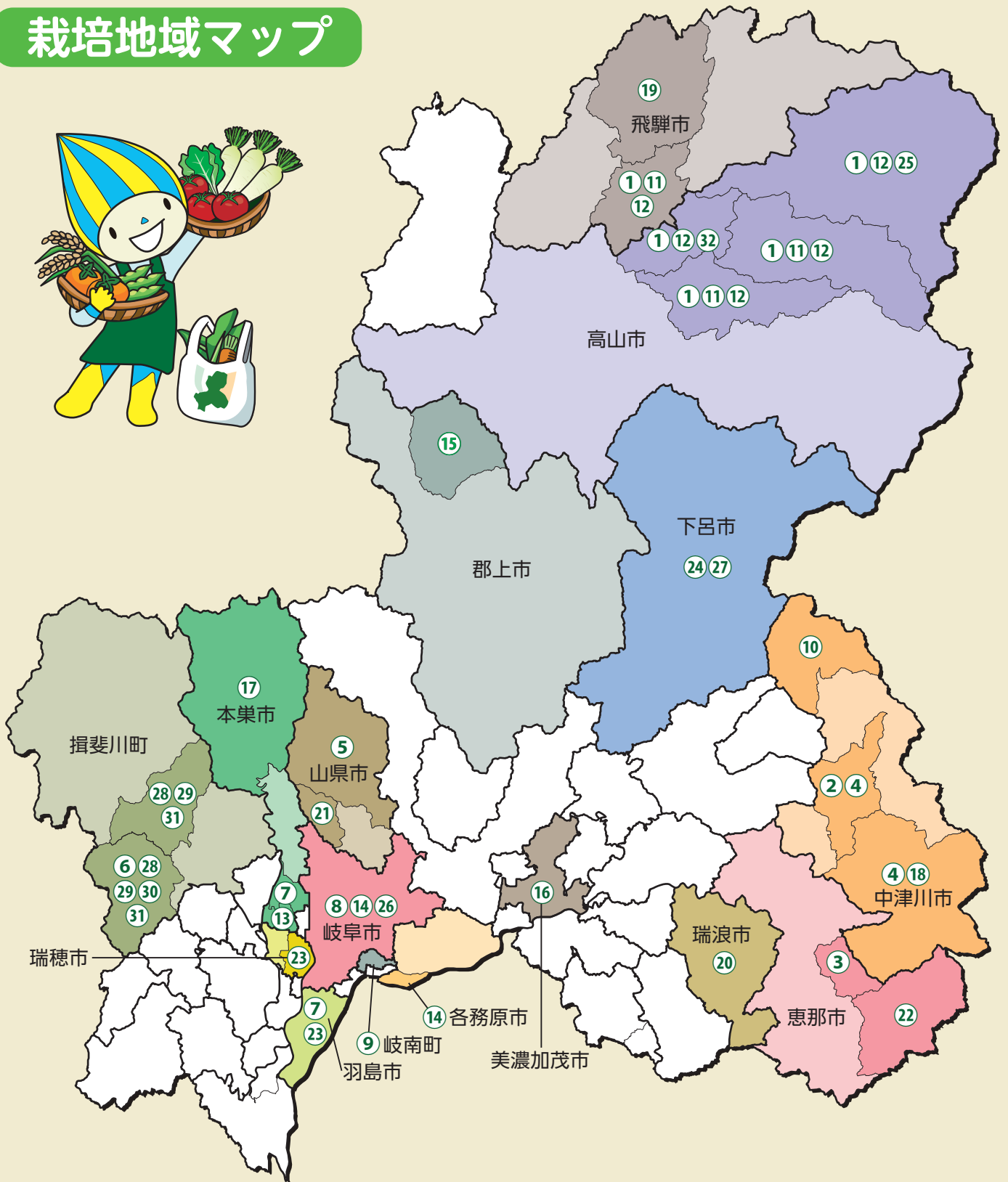
「飛騨・美濃伝統野菜」認証表示制度



「飛騨・美濃伝統野菜」及びその加工品に認証マークを貼付して、販売することができる制度です。

「飛騨・美濃伝統野菜」を消費者に広くPRするとともに、販路の拡大を推進します。

栽培地域マップ



- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| ① あきしまささげ | ⑨ 徳田ねぎ | ⑰ 弘法いも | ⑳ 高原山椒 |
| ② あじめコショウ | ⑩ 西方いも | ⑱ 瀬戸の筍 | ㉑ 島ごぼう |
| ③ きくいも | ⑪ 飛騨一本太ねぎ | ㉒ 種蔵紅かぶ | ㉓ 久野川かぶら |
| ④ 菊ごぼう | ⑫ 飛騨紅かぶ | ㉔ 半原かぼちゃ | ㉕ 春日きゅうり |
| ⑤ 桑の木豆 | ⑬ まくわうり | ㉖ 伊自良大実柿 | ㉗ 春日豆 |
| ⑥ 沢あざみ | ⑭ 守口だいこん | ㉘ 紅うど | ㉙ こんぶり |
| ⑦ 十六ささげ | ⑮ わしみかぶら | ㉚ 藤九郎ぎんなん | ㉛ 春日はるな |
| ⑧ 千石豆 | ⑯ 堂上蜂屋柿 | ㉜ 南飛騨富士柿 | ㉝ 国府なす |

収穫時期一覧

■ は収穫時期 ■ は「干し柿」の出荷時期

名 称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① あきしまささげ				■	■	■	■					
② あじめコショウ				■	■	■	■	■				
③ きくいも								■	■			
④ 菊ごぼう								■	■			
⑤ 桑の木豆								■	■			
⑥ 沢あざみ	■	■	■	■								
⑦ 十六ささげ				■	■	■	■					
⑧ 千石豆	■	■	■	■	■	■	■					
⑨ 徳田ねぎ									■	■	■	■
⑩ 西方いも								■	■	■		
⑪ 飛騨一本太ねぎ									■	■		
⑫ 飛騨紅かぶ								■	■	■		
⑬ まくわうり				■	■							
⑭ 守口だいこん									■	■		
⑮ わしみかぶら								■	■			
⑯ 堂上蜂屋柿								■		■		
⑰ 弘法いも				■	■							
⑱ 瀬戸の筍	■	■										
⑲ 種蔵紅かぶ								■	■			
⑳ 半原かぼちゃ				■	■							
㉑ 伊自良大実柿								■		■	■	
㉒ 紅うど	■	■										
㉓ 藤九郎ぎんなん								■	■			
㉔ 南飛騨富士柿								■		■		
㉕ 高原山椒					■							
㉖ 島ごぼう	■	■	■									
㉗ 久野川かぶら								■				
㉘ 春日きゅうり				■	■	■	■					
㉙ 春日豆								■	■	■		
㉚ こんぶり		■	■	■								
㉛ 春日はるな	■	■	■									
㉜ 国府なす				■	■	■	■					

岐阜県農政部農産園芸課

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁

TEL : 058-272-1111 (代) 内線 4120

E-Mail : c11423@pref.gifu.lg.jp